

## 福祉用具が必要な理由（別紙）

被保険者氏名		介護 太郎	被保険者番号	●●●●●●●●●●	
記入者	所属	いきいき介護センター		電話番号	▲▲▲-▲▲▲▲
	氏名	町介 花子	記入日	〇〇〇〇年 ××月 △△日	
住宅改修併用		<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり （改修内容： 階段手すり ）			
福祉用具貸与併用		<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり （貸与内容： 特殊寝台及び付属品 ）			

### （１）基本情報

年齢	89歳	要介護度	要介護 3	介助の有無	有
家族構成	本人・妻	介助者	妻		
福祉用具アドバイザー利用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	アドバイザー氏名			

### （２）身体 の 状況（具体的かつ簡潔に記入）

※アドバイザーを利用していなければ無記入で構いません。

福祉用具を購入するに至った疾病	両膝変形性関節症
身体状況の変化	両膝に痛み、可動域制限あり
購入前の入院・入所	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（期間：〇〇〇〇年××月△△日～〇〇〇〇年××月△△）

### （３）該当箇所にチェックしてください(購入品目に関わらず、すべての欄にチェックしてください)

立ち座り	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input checked="" type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
座位保持	<input type="checkbox"/> できる	<input checked="" type="checkbox"/> 自分の手で支えればできる	<input type="checkbox"/> 支えてもらえればできる	<input type="checkbox"/> できない
歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
立位	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
段差昇降	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input checked="" type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
排泄	<input checked="" type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
尿意・便意	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
入浴	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助

### （４）福祉用具が必要な理由（どのような状況で困っていて、今現在、どのように生活されているのか具体的にお書きください。）

No	用具種類	困っていること(現在の対応策)	目指す目標（用具導入による効果）
1	入浴用いす	自宅の浴用いすは高さ20cm程度で、立ち上がりの際に膝が痛む。 <u>現在は、浴槽の縁に掴まり、なんとか立ち上がってはいるが、見守りがないと入浴ができない。</u>	安全に立ち座りが行えるようになり、一人で入浴が行えるようになる。
2	多點杖	関節痛の影響で、うまく歩くことができない。 <u>現在は、介助されながら足を引きずり移動しているが、つまずくことも多く、介助者の負担も大きい。</u>	多點杖を利用することで、一人で安心して屋内外を移動することができる。また、多點にすることで、安全性が高まり、転倒リスクが減る。
3	補高便座	<u>現在、トイレトペーパーホルダーに掴まり立ち座りしているが、しっかり荷重できないため勢いよく座ってしまい臀部に痛みがある。</u>	高さを上げることで立ち座りがしやすくなり、一人で安心して用を足すことができる。

※洗浄機能等、本来の目的以外で分けられない機能が付属している商品に関しては、付属している機能の必要性も確認します。必要な理由を必ずご記入ください。